

令和8年度

大 学 概 要

群馬県立女子大学

< 大 学 概 要 目 次 >

	頁
1 設置目的 -----	1
2 沿革 -----	1
3 大学組織構成 -----	2
4 学生・教職員数 -----	3
5 令和8年度入学者の状況 -----	4
6 令和7年度卒業生の進路状況 -----	5
7 日本学生支援機構奨学金の給付・貸与状況 -----	5
8 外国語教育研究所の状況 -----	6
9 地域貢献活動 -----	8
(1) 群馬学センター	
(2) 地域日本語教育センター	
(3) 県民公開授業等	
10 附属図書館の状況 -----	10
11 施設の状況 -----	10

1 設置目的

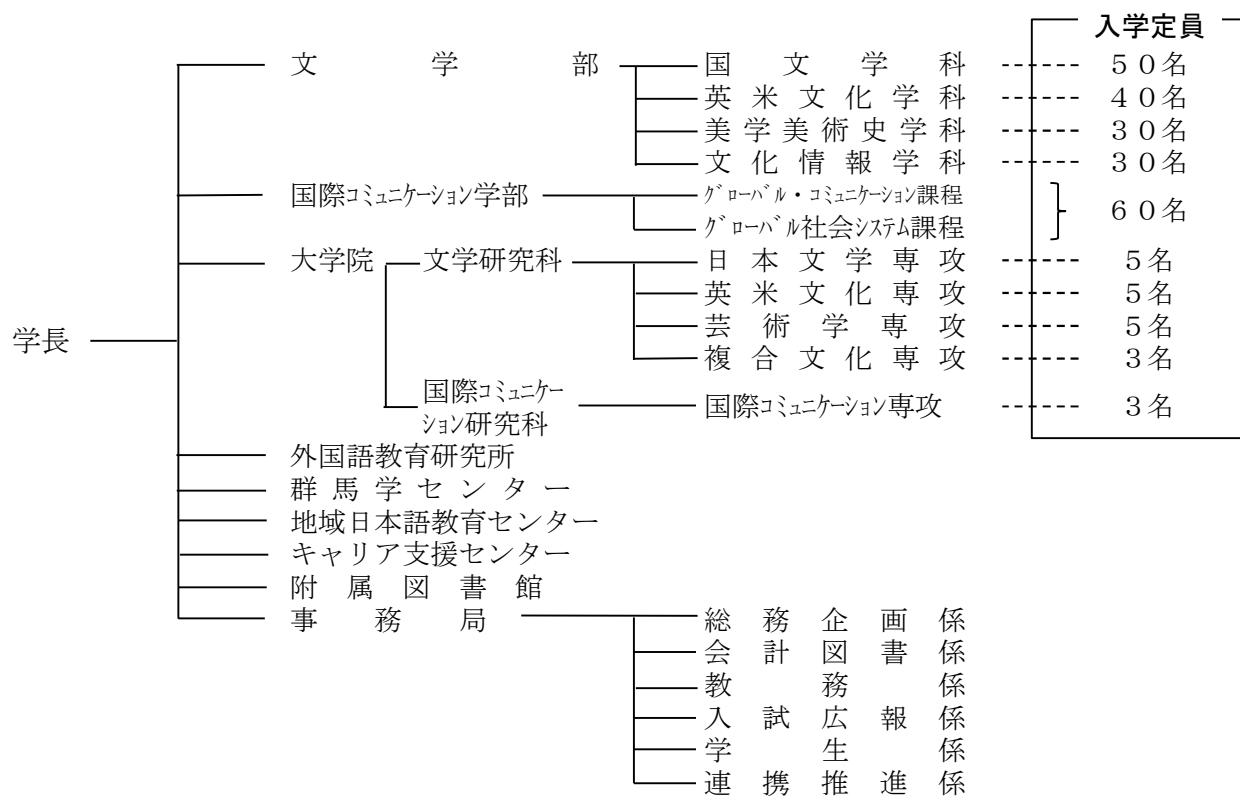
広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、地域社会における文化の進展に寄与し、更に国際化社会に対応し得る広い教養と豊かな情操を備えた人材を育成することを目的とする。

2 沿革

昭和	52年	1月	県立女子大学設置準備室を設置
	53年	3月	基本構想決定
	55年	1月	文部省設置認可
		4月	開学（前橋市文京町校舎）
	56年	4月	教職課程設置（国文学科・英文学科）
	57年	10月	佐波郡玉村町に校舎移転
	58年	10月	皇太子殿下・同妃殿下行啓
	63年	4月	教職課程設置（美学美術史学科）
平成	2年	4月	美学美術史学科実技棟完成
	5年	6月	ワシントン州立セントラルワシントン大学（米国）と友好交流協定締結
	6年	4月	大学院（文学研究科）設置
	13年	4月	外国語教育研究所設置
		11月	江蘇省立蘇州大学（中国）と友好交流協定締結
	14年	3月	評議会設置
		7月	県内6大学（群馬大学、群馬県立女子大学、関東学園大学、上武大学、東洋大学、放送大学）による単位互換に関する包括協定書締結
	15年	1月	高崎経済大学・前橋工科大学との教育・研究連携協議会発足
		4月	群馬県公立3大学の大学院間単位互換制度の実施
	16年	4月	群馬県公立3大学の学部間単位互換制度の実施
	17年	4月	国際コミュニケーション学部設置
	18年	6月	ハワイ大学ヒロ校（米国）と友好交流協定締結
		6月	ヒューロン大学（カナダ）と友好交流協定締結
		10月	高麗大学校（韓国）と友好交流協定締結
	19年	1月	新館（2号館）完成
	20年	11月	大連外国語学院（中国）と友好交流協定締結
	21年	4月	文学部に総合教養学科を設置
		4月	大学院に国際コミュニケーション研究科を設置
		4月	群馬学センター設置
		10月	オクラホマ州立大学（米国）と友好交流協定締結
	22年	4月	文学部英文学科を英米文化学科に改編
	23年	1月	玉村町と連携協力に関する包括協定締結
		4月	文学研究科英文学専攻を英米文化専攻に改編
	24年	4月	地域日本語教育センター設置
	25年	4月	文学研究科複合文化専攻を設置
		4月	ウィンストン-セーラム州立大学（米国）と友好交流協定締結
	26年	4月	キャリア支援センター設置
	27年	7月	国立高雄第一科学大学（台湾）と友好交流協定締結
	28年	9月	デ・ラサール大学（フィリピン）と友好交流協定締結
		12月	群馬県立歴史博物館と包括的連携協定締結
	29年	12月	マラヤ大学（マレーシア）と友好交流協定締結
	30年	4月	本学の設置者を群馬県から群馬県公立大学法人に変更
令和	3年	10月	群馬経済同友会と連携・協力協定締結
		4年	群馬県教育委員会と包括連携協定締結
		5年	文学部総合教養学科を母体として、文化情報学科を設置
		6年	国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション課程、国際ビジネス課程を母体として、グローバル・コミュニケーション課程、グローバル社会システム課程を設置
		4月	群馬県立近代美術館と包括的連携協定締結

3 大学組織構成

(令和8年4月1日現在)



※国際コミュニケーション学部は、学部で一括(転入学・編入学を除く)して学生を募集する。

4 学生・教職員数(令和8年4月1日現在)

(1) 在学生の状況

① 学部生

(単位:人)

区 分 学部・学科	県 内 者		県 外 者		計
		%		%	
国 文 学 科	128	54.2	108	45.8	236
英米文化学科	82	44.1	104	55.9	186
美学美術史学科	65	46.1	76	53.9	141
文化情報学科	80	57.6	59	42.4	139
(総合教養学科)	1	50.0	1	50.0	2
文 学 部 計	356	50.6	348	49.4	704
国際コミュニケーション学部	134	48.6	142	51.4	276
総 計	490	50.0	490	50.0	980

② 院生

(単位:人)

区 分 学 科	県 内 者		県 外 者		計
		%		%	
日本文学専攻	8 (0)	0.0	4 (0)	0.0	12 (0)
英米文化専攻	5 (0)	83.3	1 (0)	16.7	6 (0)
芸術学専攻	7 (0)	77.8	2 (0)	22.2	9 (0)
複合文化専攻	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0 (0)
国際コミュニケーション専攻	0 (0)	0.0	0 (0)	0.0	0 (0)
計	20 (0)	74.1	7 (0)	25.9	27 (0)

※カッコ内の人数は男子大学院生で内数

(2) 教職員の状況

① 全体

(単位:人)

	専任・常勤	非常勤	計
教員(学長を含む)	57	76※	133
事務職員	28	24	52
計	85	100	185

※通年及び前期の雇用人数(年度の雇用予定人数は127人)

② 教員(専任教員・非常勤講師)

(単位:人)

学科	職名		専 任 教 員										非常勤 講 師	計	
			学長		教授		准教授		講師		助手				小計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			計
学 長	1										1	0	1		
国 文 学 科			4	2	2	2		1			6	5	11		
英米文化学科			5	1	3	1		1			8	3	11		
美学美術史学科			3	1	1	1	2				6	2	8		
文化情報学科			2	1	3	1		1			5	3	8		
国際コミュニケーション学部			4	4	3	2	1	1			8	7	15		
群馬学センター			1								1	0	1		
地域日本語教育センター						1					0	1	1		
キャリア支援センター								1			0	1	1		
計	1	0	19	9	12	8	3	5			35	22			
	1		28		20		8		0		57			76	133

※大学院専任教員は42名で学部専任教員が兼務

③ 事務職員

(単位:人)

	事務局長		次 長		総務企画係		会計図書係		教務係		入試広報係		学生係		連携推進係		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
職員数	1			1	3	1	1	4	3	2	1	3		4	1	3	10	18
	1		1		4		5		5		4		4		4		28	

④ 事務職員(非常勤嘱託)

(単位:人)

	研究員	事務補助	教務補助	留学支援・研究所	保健師	管理員	学校医	カウンセラー	キャリア・アドバイザー	計
職員数	6	2	7	1	1	3	2	1	1	24

5 令和8年度入学者の状況(令和8年4月1日現在)

(1) 学部・学科別入学者の状況

(単位:人)

学部・学科	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	うち県内	県内比率	転入学・編入学	
								入学定員	入学者
国文学科	50	254	194	69	61	33	54.1%	若干名	0
英米文化学科	40	130	83	59	46	22	47.8%	若干名	0
美学美術史学科	30	142	97	39	37	15	40.5%	若干名	0
文化情報学科	30	119	93	39	33	19	57.6%	若干名	1
文学部 計	150	645	467	206	177	89	50.3%	若干名	1
国際コミュニケーション学部	60	257	173	76	68	31	45.6%	若干名	1
合計	210	902	640	282	245	120	49.0%	若干名	2

※ 県内、県外の区分けは出身高校所在地を基準としている。

※ 志願倍率:志願者／募集人員=4.3倍

実質倍率:受験者／合格者=2.3倍

(2) 都道府県別入学者の状況

(単位:人)

北海道	4	埼玉	14	岐阜	2	鳥取	1	佐賀	0
青森	3	千葉	0	静岡	5	島根	0	長崎	0
岩手	2	東京	2	愛知	1	岡山	0	熊本	0
宮城	1	神奈川	0	三重	0	広島	0	大分	0
秋田	1	新潟	13	滋賀	0	山口	0	宮崎	0
山形	6	富山	5	京都	1	徳島	0	鹿児島	0
福島	6	石川	2	大阪	1	香川	0	沖縄	0
茨城	22	福井	0	兵庫	1	愛媛	1	高卒認定	0
栃木	23	山梨	1	奈良	0	高知	0	海外	0
群馬	120	長野	6	和歌山	0	福岡	0	計	244

(3) 大学院研究科・専攻別入学者の状況

(単位:人)

研究科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	うち男性	うち本学出身
日本文学専攻	5	4	4	4	4	0	3
英米文化専攻	5	6	6	5	4	0	4
芸術学専攻	5	6	5	4	4	0	4
複合文化専攻	3	2	0	0	0	0	0
文学研究科 計	18	18	15	13	12	0	11
国際コミュニケーション研究科	3	1	1	0	0	0	0
合 計	21	19	16	13	12	0	11

(4) 聴講生・研究生の状況

(単位:人)

	文学部	国際コミュニケーション学部	大学院	計	備 考
聴 講 生	4	0	1	5	前期
特別聴講学生	3	0	1	4	前期
研 究 生	0	0	0	0	前期
科目等履修生	1	0	2	3	前期
計	8	0	4	12	-

※ 人数は延べ数を記載している。

6 令和7年度卒業生の進路状況(令和8年3月31日現在)

(1) 学部・学科別の進路状況 (単位:人)

学部等	卒業生	就職希望者	就職者				就職率 %	就職希望なし	
			民間	公務員	教員	計		進学	その他
文学部	155	138	111	9	16	136	98.6	9	7
国文学科	58	53	40	2	11	53	100.0	2	3
英米文化	41	38	31	2	3	36	94.7	3	0
美学美術史学科	34	27	22	3	2	27	100.0	4	2
総合教養学科	22	20	18	2	0	20	100.0	0	2
国際コミュニケーション学部	59	54	49	5	0	54	100.0	1	4
英語コミュニケーション課程	32	27	25	2	0	27	100.0	1	4
国際ビジネス課程	27	27	24	3	0	27	100.0	0	0
大学全体	214	192	160	14	16	190	99.0	10	11

※ 卒業者には9月卒業生を含む。

※ その他には、教員・公務員再受験等を含む。

(2) 学部・学科別の就職者(民間)の業種別状況 (単位:人)

	建設	製造	情報通信	運輸	卸売小売	金融保険	不動産	サービス	医療福祉	電気・ガス	教育	計
国 文	3	10	7	2	3	1	1	9	3	0	1	40
英 米 文	1	3	5	2	0	2	2	13	2	0	1	31
美学美術史	0	5	2	1	3	0	0	10	0	1	0	22
総合教養	1	2	3	0	3	1	1	5	2	0	0	18
英語コミ	2	2	3	2	7	2	0	5	1	0	1	25
国際ビジ	0	4	4	0	4	2	1	7	1	0	1	24
計	7	26	24	7	20	8	5	49	9	1	4	160

(3) 大学院研究科・専攻別の進路状況 (単位:人)

研究科 専 攻	修了者	就職希望者	就職者	進学者	その他
文学研究科	4	4	4	0	0
日本文学専攻	0	0	0	0	0
英米文学専攻	2	2	2	0	0
芸術学専攻	2	2	2	0	0
複合文化専攻	0	0	0	0	0
国際コミュニケーション研究科	1	1	1	0	0
大学全体	5	5	5	0	0

7 日本学生支援機構奨学金の給付・貸与状況(令和8年3月31日現在)

(単位:人)

	給付	第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計
学部学生	265	202	179	646
大学院生		8	1	9
計	265	210	180	655

※ 延べ人数

8 外国語教育研究所の状況

(1) グローバル人材育成「明石塾」

国際的な視野と国際舞台で堂々と発言し行動できる力を備え、高い志と行動力に富んだ人材を育成。

入塾式 7月26日(土)実施

英語研修・大学講義、県内外フィールドワーク、東南アジア方面海外研修他 26日間(週末等に実施)

(2) 高等学校連携英語授業

・モデル授業実施: 研究所作成の授業プランに従ってコミュニケーション能力育成モデル授業を実施

高崎経済大学附属高等学校 6月10日(火)/7月8日(火)/9月2日(火)

高崎商業高等学校 7月15日(火)/9月16日(火)

沼田高等学校 令和8年3月5日(木)/3月6日(金)/3月23日(月)

・個別授業支援: 各学校の個別の授業プランに従って授業を実施

渋川高等学校 12月16日(火)

中央中等教育学校 令和8年2月17日(火)

高崎女子高等学校 令和8年1月20日(火)

(3) 明石杯高校生英語コンテスト

① 期日・場所 11月14日(金) 県立女子大学

② 参加状況

	本大会				支部予選 (本大会出場者を除く)
	1年	2年	3年	計	
レシテーション	9	8		17	30
スピーチ第1部	10	12	3	25	27
スピーチ第2部(海外滞在経験者等)	9	7	1	17	
プレゼンテーションの部	7	9	2	18	
計	35	36	6	77	
参加総数					134

(4) 英語特別セミナー English Communication Workshop

身近な社会問題や環境問題に関する大学教員の講義を聞き、その知識に基づき英語でグループディスカッションを行い、そこでの学びや気づきを英語で発表する2日間のプログラム

① 期日 令和8年2月19日(木)/3月3日(火)

② 参加校 12校(83名)

(5) 企業英語研修

サンデン株式会社 4月7日(火) 新入社員研修 *対象者18名

【内容】ビジネスシーンを想定した基礎的な英語に親しむとともに、継続した英語学習への動機付けをする。

(6)海外留学の状況

① 参加者の累計

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度	28～15年度	累計
長期留学者数	16	13	14	8	3	3	21	43	31	278	430
短期留学者数	36	50	37	25	6	4	53	61	37	1,196	1,505
計	52	63	51	33	9	7	74	104	68	1474	1,935

② 長期留学

ア 留学先別参加人数

16 名

国・地域	大学・研修機関名	留学先数	人数
カナダ	トンプソン・リバーズ大学(8) セルカーク大学(1) セントジョージインターナショナルカレッジ(1)	3	10
マレーシア	マラヤ大学(交換留学)	1	1
フィリピン	デ・ラ・サール大学(交換留学)	1	1
韓国	高麗大学校(交換留学)	1	2
アイルランド	ダブリンシティ大学	1	1
オーストラリア	ウェスタンシドニー大学	1	1
計		8	16

イ 所属・学年別参加人数

学科	1年	2年	3年	4年	学部計	大学院	合計
国文							0
英米文化		1	1	1	3		3
美学美術史							0
文化情報(1,2,3年) 総合教養(4年)							0
国際コミュ		7	5	1	13		13
合計	0	8	6	2	16	0	16

③ 短期留学

ア 留学先別参加人数

・語学研修

36名

国	大学・研修機関名	研修先数	人数
カナダ	ハートランド・インターナショナル・イングリッシュ スクール(10) University of British Columbia (A SPIRE INTENSIVE)(1) グローバルビレッジイングリッシュセンター(1)	3	12
オーストラリア	グリフィス大学(3) Future English語学学校(1)	2	4
ニュージーランド	ワイカト大学(3)	1	3
アメリカ合衆国	インディアナ大学インディアナポリス校(4)	1	4
計		7	23

・インターン研修

8 名

国	研修内容	研修先	人数
フィリピン	タランバンの公立小学校(副担任)(2)	1	2
ベトナム	ホーチミンの日本語語学学校(日本語教師アシスタント)(1)	1	1
オーストラリア	企業インターン(5)	1	5
計		3	8

・ボランティア研修

5 名

国	研修内容	研修先	人数
アメリカ合衆国	サンフランシスコのフードバンク・教会(低所得者支援)	1	1
インドネシア	バリ島ウブドの小中学校(英語授業支援)(1)	1	1
ブルガリア	アゴラソフィア(日本語授業支援)(3)	3	3
計		5	5

イ 所属・学年別参加人数

学科	1年	2年	3年	4年	学部計	大学院	合計
国文		1			1		1
英米文化		11		1	12		12
美学美術史							
文化情報(1,2,3年) 総合教養(4年)							
国際コミュ	2	18	2	1	23		23
合計	2	30	2	2	36	0	36

④ 交換留学生の受入(R8.4.1現在)

	大学・研修機関名(国名・地域名)	人数
受入	蘇州大学(中国)(2)、国立高雄科技大学(台湾)(2)	4

9 地域貢献活動

(1) 群馬学センター

① 群馬学連続シンポジウム(令和7年度実績)

日時	内 容	参加者数
令和7年7月12日(土) 大学講堂 13:00～16:00	第47回テーマ 学校様の時代ー村や町の近世・近代ー(シリーズ・地域史の画期を問直すⅢ) ☐ 趣旨説明 群馬県立女子大学 群馬学センター 教授 築瀬大輔 ☐ 講演1 「地域のなかで郷学を考える」 国立歴史民俗博物館 准教授 工藤 航平 ☐ 講演2 「嚮義堂と伊勢崎郷学の展開」 群馬県立文書館 主任 小嶋 圭 ☐ 講演3 「足利学校の文化財としての再生と日本遺産への認定」 史跡足利学校 研究員・学芸員 大澤 伸啓 ☐ パネルディスカッション 「地域教育と教育文化財から見た近世・近代移行期の画期」 パネリスト 工藤 航平 小嶋 圭 大澤 伸啓 コーディネーター 築瀬 大輔	142名
令和7年12月20日(土) 大学講堂 13:00～16:00	第48回テーマ 災害史を”する”人々ー異文化交流と市民参加ー(シリーズ・群馬の災害文化Ⅲ) ☐ 趣旨説明 群馬県立女子大学 群馬学センター 教授 築瀬大輔 ☐ 講演1 「歴史災害の記憶の継承を考える」 中央大学文学部 教授 西川 広平 ☐ 講演2 「みんなで翻刻:オンライン市民参加による災害史料翻刻」 国立歴史民俗博物館 准教授 橋本 雄太 ☐ 講演3 「浅間山北麓ジオパークにおける市民参加の災害史実践」 浅間山北麓ジオパーク 専門員 古川 広樹 ☐ パネルディスカッション 「異分野交流と市民参加で”する”災害文化のこれから」 パネリスト 西川 広平 橋本 雄太 古川 広樹 コーディネーター 築瀬 大輔	91名

② 群馬学連続セミナー「史料で読み解く群馬」(令和7年度実績)

日時	内 容	参加者数
令和7年8月8日(金)～ 9月26日(金) 全8回	第7期群馬学連続セミナー 『太平記』を旅するー第三幕・楠木正成の登場ー	延べ534名
令和8年2月13日(金) ～3月17日(火) 全6回	第8期群馬学連続セミナー 『太平記』を旅するー第四幕・後醍醐天皇の流罪ー	延べ376名

③ ぐんま資料保全セミナー(令和7年度実績)

日時	内 容	参加者数
令和7年10月8日(水) 13:30～15:30	☐ 講義 「水損資料レスキューの準備と方法」 長野市立博物館 原田 和彦 ☐ 実習 「水損資料の応急処置のしかた」	20名

④ 書籍の刊行

タイトル	内 容	発行日
地域学ブックレット 群馬の歴史と文化遺産 Vol.15, Vol.16	群馬学連続シンポジウムの講演録 Vol.15(第45回群馬学連続シンポジウム 上野介源頼信とその時代ー「亡弊史観」を見直すー(シリーズ・地域史の画期を問 い直すⅡ)) Vol.16(第46回群馬学連続シンポジウム 関東平野の文化的景観と防災文化財(シリーズ・群馬の災害文化Ⅱ))	令和8年3月17日
群馬学研究・KURUMA 第4号	地域文化としての「群馬」の持続的発展と、我が国の地域学の確立・発展に寄与することを目的として、群馬学、または地域 学に関連する未公表の論文、資料・事例紹介、書評を掲載	令和8年3月17日

(2) 地域日本語教育センター

講演会・研修会(令和7年度実績)

日時	内 容	参加者数
令和7年12月13日(土) 大学 第1講義室 14:00～16:00	令和7年度地域日本語教育講演会 地域社会とともにある日本語教育のかたちー教室と地域をつなぐ方言のカー 講師: 榎引 祐希子(大阪教育大学 准教授)	71名
令和7年9月18日(木) 13:30～15:30	第1回日本語ボランティアスキルアップ研修 学習効率を上げる指導の工夫ー記憶の仕組みー 講師: 野口 芙美(群馬県立女子大学 地域日本語教育センター 准教授)	46名
令和7年9月25日(木) 13:30～15:30	第2回日本語ボランティアスキルアップ研修 学習の満足と継続のためにできることー動機づけ・ピリフ第二言語不安ー 講師: 野口 芙美(群馬県立女子大学 地域日本語教育センター 准教授)	46名

(3) 県民公開授業等

①県民公開授業参加者総計(令和7年度実績)

科 目	参加者数
芸術の現場から 月曜4限(教養共通科目)	205名
グローバル・シテズンシップ～大使リレー講座～ 火曜4限(教養共通科目)	
リーダーから学ぶ企業経営 火曜5限(キャリア支援センター開講科目)	
多様な生き方・働き方: 将来のリーダー像を見つけよう 木曜4限(キャリア支援センター開講科目)	

②公開講座参加者総数(令和7年度実績)

日時	内 容	参加者数
令和7年9月1日(月)	『おらが春』を読む 作家がとらえた現代の人間と社会	延べ954名
令和7年9月4日(木)	スードに惑う明治美術 身近なデザイン・アートに親しむ方法	
令和7年9月6日(土)	アーネスト・ヘミングウェイの短編作品を「読む」 数学を通じて自由に考えてみよう!	
令和7年9月8日(月)	身近なところからはじめる異文化コミュニケーション 異文化コミュニケーション入門	
令和7年9月11日(木)	日本人はNoと言わないのか メディア論の系譜	
令和7年9月12日(金)	英語の会話の仕組みを探る: 語用論と認知言語学の言語理論をもとに 英語の発音を学びましょう	

③出前講座・模擬授業

年度 区分	令和6年度	令和7年度	備考
出前講座(市町村公民館等)	42講座	19講座	
模擬授業(高等学校等)	26授業	22授業	
計	69講座(授業)	41講座(授業)	

10 附属図書館の状況(令和8年3月31日現在)

(1) 蔵書数

(単位:冊)

	和 書	洋 書	視聴覚資料	製本雑誌	計
蔵 書 数	113,485	41,102	536	12,330	167,453

(2) 利用状況(令和7年度実績)

(単位:人)

		学生(院生・聴講生 等 含む)	1日平均	教職員	県民	その他	合 計	1日平均
		15,660	67.2	793	186		16,639	71.4
館内 利用 者	入館者数						26,668	114.5
	閲覧者数						400	1.7
	レファレンス件数						3	0.01
貸出 冊数	視聴覚室利用件数							
	利用者数	5,723	24.6	372	101	55	6,251	26.8
	貸出冊数	11,976	51.4	815	282	70	13,143	56.4

11 施設の状況(令和8年3月31日現在)

(1) 敷地

(単位:m²)

用 途 別	面 積	備 考
校 舎 敷 地	39,594	
運 動 場	16,007	300mトラック テニスコート4面など
駐 車 場	8,230	駐車場(収容346台) 駐輪場(収容342台)など
計	63,831	

(2) 建物

(単位:m²)

用 途 別	面 積	備 考
管 理 棟	1,458	学長室、事務室、会議室、保健室、守衛室など
1 号 館	7,769	研究室、教室、多目的教室、視聴覚室、博物館実習室、閉架書庫、地域日本語教育センターなど
体 育 館	2,379	フロア(バドミントンコート 6面 ハレーボールコート 2面)、更衣室
講 堂	2,127	座席940席、身障者用10席など
図 書 館	1,195	収蔵能力約16万冊(閉架書庫含む)、閲覧席74席
実 技 棟	1,769	染織室、デザイン実習室、陶芸室、彫塑室、版画室など
大 学 会 館	1,532	食堂、購買、茶室、オーディオルームなど
2 号 館	5,331	研究室、教室、CALL教室(4室)、外国語教育研究所、群馬学センター、キャリア支援センターなど
そ の 他	1,680	クラブ棟(31部室)、機械棟、回廊、車庫など
計	25,240	

群馬県立女子大学

群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1

〒370-1193 TEL (0270)65-8511 (代表)

FAX (0270)65-9538

E-mail kenjo@mail.gpwu.ac.jp

<https://www.gpwu.ac.jp/>